



被爆八十年ギャラリー

帯田正好氏出征時家族写真

長与村付近で撮影か

写真中央の男性が、帯田 正好氏

昭和15年12月1日

現役兵として歩兵第百四十六連隊に入隊

昭和16年2月23日

歩兵第五十五連隊要員として転属

昭和16年2月24日

門司港出発

昭和16年3月2日

広東省黄埔上陸、

歩兵第五十五連隊編入（同月3日）

その後、陸軍伍長まで務める

昭和21年7月11日

蘭貢港出発、広島県宇品港帰還（27日）

帯田正好氏が配属された「歩兵第五十五連隊」

昭和17年4月

英領ビルマに移動し、

太平洋戦争における「ビルマの戦い」に深く関わった。

昭和19（1944）年12月1日

山崎支隊として第56師団の指揮下に入り

レド公路の遮断に務める。

昭和20（1945）年2月

フーコンを放棄し、

メイクテラの戦いなどに参加

同年8月

終戦を迎え、22日16時軍旗奉焼